



小牧山

春号

(オープンベース特集号)

編集・発行：小牧山発行委員会
小牧市春日寺 1-1
電話：0568-76-2191
内線 4055

※今後の編集の参考にするため
ご意見・ご感想をお待ちしています。



1 輸空隊安全祈願行事

1月

献酒



令和5年1月5日、第1輸送航空隊は「安全祈願」行事を実施しました。年頭に当たり、全隊員を前に渡部司令が年頭の辞を述べられ、隊員は安全の重要性を再認識しました。その後、抜けるような青空の下、ダルマに目を入れ航空機に献酒をして1年間の飛行安全、地上安全を祈願しました。本行事により、1輸空隊全隊員の安全意識が高揚され、今年1年間の部隊の安全確保を誓い合いました。

防衛大臣政務官部隊視察



1月13日、小野田 紀美 防衛政務官が小牧基地に来訪され、各部隊の活動、各種訓練状況及び小牧基地所属の装備品等の確認のほか隊員との懇談も図られるなど、精力的に視察されました。また、フィリピンへの装備品移転に伴う要員教育現場の視察及び意見交換を通じ、防衛省の支援状況について確認されました。

さらに、小牧基地公式 Twitter アカウントまでフォローしていただきました。おかげさまで3月4日にフォロワー5万人を超えました。フォロワーの方に改めてお礼申し上げます。

賀詞交歓会

1月11日、小牧基地賀詞交歓会が隊員食堂で開催されました。当日は、大村愛知県知事をはじめ多数の国会議員、基地協力団体等の長及び基地周辺区長等のご来賓をお迎えし実施しました。会場は参加者の熱気で満ち溢れ、渡部基地司令の挨拶、基地協力会長の祝辞及び齋藤5術校長の乾杯の後、開始となりました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となりましたが、にぎやかで楽しい一時となりました。



成人祝賀会



令和5年小牧基地成人祝賀会



1月17日、幹部食堂において成人祝賀会を実施しました。

祝賀式では小牧市長、基地協力会長をはじめ多数の来賓が臨席する中、新成人28名を代表し、第1輸送航空隊基地業務群施設隊の山口士長が、意気込みや、これまで支援してくれた家族、上司等への感謝の言葉を述べました。

なお、新成人には基地幹部会及び准曹会より「ふくさ」（各自の名前の刺繍入り）がお祝いの記念として渡部基地司令より送られました。

大人の仲間入りを果たした彼らが益々活躍し、小牧基地をさらに盛り上げてくれることでしょ。



1輸空隊航空自衛隊飛行安全及び地上安全褒賞 W 受賞

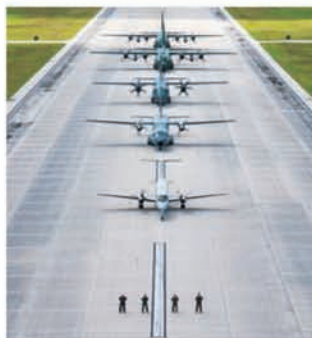
1月24日、隊司令室においてVTCによる航空自衛隊飛行安全褒賞及び地上安全褒賞授与行事が執り行われ、我が第1輸送航空隊は飛行・地上それぞれの安全褒賞を授与されました。

第1輸送航空隊は、飛行において令和3年4月2日から令和4年11月22日まで、地上において令和4年4月12日から令和4年12月8日までの間に前述の基準を達成しました。これで飛行安全褒賞は連続26回、通算30回の受賞、地上安全褒賞は通算11回受賞したことになります。

本行事のさなか、航空幕僚長は訓示において「安全褒賞を受賞することは、しっかりと任務を遂行していること」と仰っておられました。第1輸送航空隊は、隊司令の「常に安全意識のスイッチをON」、副司令の「安全は個人の自覚によること」とのご指導の下に、引き続き全隊員一人一人が安全を自覚し、様々な局面においても安全への意識を高めて任務に取り組んでいきます。



コープノース・グアム



1月23日から3月8日までの間コープノース23（日米豪共同訓練）に小牧基地から約100名の隊員が参加しました。アメリカ合衆国グアム島を中心に複数の場所にて実戦的環境下で、米軍及び豪空軍との相互運用の向上を図り、人道支援・災害救援活動に係る部隊の能力及び参加国間の連携要領の向上を目的に訓練を行いました。今年度航空自衛隊は、航空総隊及び支援集団を統合した訓練実施部隊で参加し、言語の違いを乗り越え参加した隊員ひとりひとりが十分に能力を發揮し、各訓練隊としても充実した訓練を実施することができました。



第1輸送航空隊 銃剣道訓練



第1輸送航空隊は、1月から銃剣道初段以下の者約350名に対して、気力、体力及び敢闘精神を向上させるとともに、組織として人的戦力基盤の確保を図る目的として月8回（32時間）火曜日及び木曜日の午前を基準に銃剣道訓練を開始しました。訓練は、空白の有段者と陸自第35普通科連隊（守山）と共同で実施し、被訓練者約40名に対して、教官約30名が、マンツーマンで指導するなど最大の訓練効果を発揮しつつ、試合で「心（シン）・技・体」の一致による有効刺突が修得できるように「大きな声」を出して、日々訓練に励んでいます。みなさん応援よろしくお祈いします。また、令和5年10月には、「シン・銃剣道大会（仮称）」を計画する予定です。

基地モニター松島基地研修

2月

2月1、2日の2日間、令和4年度基地・防衛モニターの松島基地見学が実施されました。

松島基地は宮城県東松島市に所在しており、小牧基地からC-130H輸送機に搭乗し移動しました。初日はF-2戦闘機のパイロットを育成する第21飛行隊の航空機や地上作業及び離着陸を見学し、2日目にはブルーインパルスを運用する第11飛行隊の飛行場上空における飛行訓練や格納庫等を見学しました。2日間を通して、航空自衛隊の広報活動や教育訓練、任務等について理解を深めていただきました。



航空保安管制競技会



2月9日から16日の間小牧基地において「航空保安管制競技会」が実施されました。

この競技会は全国各地の管制隊が知識と技量を評価されることで、技量の向上を図ることを目的とした競技会です。「航空管制部門」及び「飛行管理部門」の二部門があり、それぞれに学科、実技がある中、小牧管制隊は学科部門にて見事優勝を獲得しました。

小牧管制隊は、これからも航空機の安全な運航の確保のため更なる知識・技量の向上を目指します。



3月5日

小牧基地オープンプレース開催

輸送機大集合



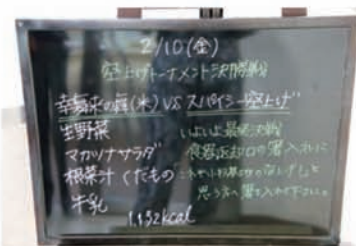
小牧基地新オリジナル空上げトーナメント

2月10日、小牧基地新オリジナル空上げトーナメントの決勝戦が行われました。

隊員が考案した64種類ものアイデアから最終候補4種類を隊員による食べ比べ投票により勝負。決勝戦は「甘辛スパイシー空上げ（県産醤油及び胡椒ベース）」VS「小牧の舞（愛知県産米粉）」となりました。

決勝戦も隊員による食べ比べ投票。結果はなんと倍以上の得票差をつけて「甘辛スパイシー空上げ」に軍配が上がり見事優勝を果たしました。

なお、給養小隊は今回の熱戦を称えるべく双方の良いところを取り入れ、今後、米粉を使用した甘辛スパイシー空上げを献立に取り入れるとの事です。



防衛交流 インド空軍来基

～ダルマ・ガーディアン22支援に関わるインド空軍受け入れとそれに伴う防衛交流～

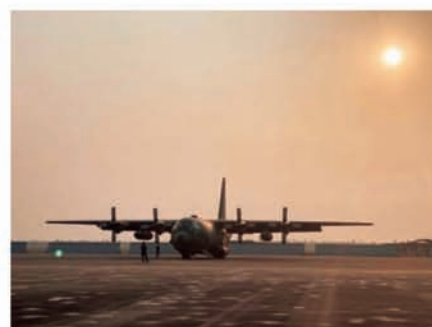
2月12日1800頃、インド空軍所属のC-17大型輸送機が小牧基地へ飛来しました。陸上自衛隊とインド陸軍の合同演習である「ダルマ・ガーディアン22」に参加するためにインド陸軍の約40名の隊員と資器材を輸送してきました。小牧基地としてはインド大使館や受け入れを担当した民間企業と協力し、円滑に人員機材を受け取り陸上自衛隊へと引き渡すことができました。飛来したC-17大型輸送機は2月14日まで小牧に滞在し、帰投の際は基地総出で見送りました。このような経験の積み重ねが自由で開かれたインド太平洋地域の安定にとって重要であり小牧基地の果たす役割の大きさを感じました。



多国間共同訓練コブラ・ゴールド23

3月

3月2日から3月6日までの間第401飛行隊は、タイ王国ウタパオ海軍航空基地において実施された多国間共同訓練コブラ・ゴールド23に参加し、在外邦人等保護措置の訓練を行いました。ウタパオ基地への展開及び撤収を通じて、国外運航能力を向上させ、かつ、ウタパオ基地において、アメリカ軍及びタイ軍との共同訓練を通じて、相互理解を深めるとともに、在外邦人等保護措置にかかる運用能力を維持向上させることができました。



Twitter フォロワー5万人達成!!

昨年8月29日、小牧基地司令は広報班の隊員につぶやきました。Twitter のフォロワー5万人目指していこうと。期限はオープンベースの日、3月5日まで。これは広報班で「琢也の野望」(基地司令の名前)と名付けられ、広報班を中心とした本格的な SNS 活動が始まりました。内容は主に小牧基地で行われる行事やイベントであり、多い時には1週間で30弱の投稿もしています。その甲斐もありオープンベースの前日に5万人を達成することができました。フォローしてくださった方々には感謝しております。また、オープンベース当日においてはフォロワーの方々に対し、持つと小牧基地の Twitter のフォロワーを意味する記念バッジが配られました。そしてオープンベース終了後、基地司令はつぶやきました。次は6万5千人...



フライガールズ

～ ‘Fly Girls’ Aviation Event ～

～ ‘Fly Girls’ Aviation Event ～

3月8日、米軍横田基地で開催された ‘Fly Girls’ Aviation Event に小牧基地から女性隊員が参加しました。このイベントは国際女性デーを祝い、若者たちに航空界における女性の貢献とその継続について教育する機会として米軍が企画したものです。100名以上の米軍家族の中高生に対し、航空自衛隊からも第401飛行隊所属のC-130H航空機の見学を行い、機内の説明や質疑応答を通して学生との交流を図りました。見学の際に渡した航空自衛隊のグッズは好評であり、学生はみんな笑みを湛えていました。このようなイベントは日米の親交を深める貴重な機会であり、私たち隊員も学生達の将来のキャリアを広げるお手伝いのできたことをうれしく思います。



機上医療等訓練

3月16日、航空機動衛生隊は、機動衛生ユニット及び担架区画をC-130H機内に設置し、機上医療等訓練を実施しました。今回の担架区画での訓練では、特に、コープ・ノース23で得た知見を訓練の中で共有し、機上での患者急変時の対応等を訓練しました。地上での状況との違い(機上における振動、音、明るさ等)を経験することができ、その中で医療行為を実施することは地上での訓練と異なり困難な点も多くありましたが、今までの訓練の成果を活かし、実りのある訓練とすることができました。

特に、今回の訓練では入間病院から医官及び看護官が参加し、第1輸送航空隊からの支援を受け、貴重な機上医療訓練を実施することができました。



トルコ共和国における国際緊急援助活動



第1輸送航空隊は、3月14日から3月24日の間トルコ共和国における国際緊急援助活動に必要な物資等の輸送任務に従事しました。

今回の活動は、地震により多くの人々が被災しており、トルコ政府及びNATO（北大西洋条約機構）から日本に対し協力要請があったもので、NATOと連携して実施する初めての国際緊急援助活動であり、KC-767空中給油・輸送機により、パキスタンにあるトルコ向けのテント等の緊急援助物資（約25トン）を4回、トルコまで輸送しました。

第1輸送航空隊は、今後も与えられた任務に全力で取り組んでまいります。

第39回 OPDES 災害救助犬試験合格



3月17～19日兵庫県伊丹市で行われた第39回 OPDES 災害救助犬試験に小牧基地所属の警備犬アミ号とモズ号がそれぞれのハンドラーと共に受験し、アミ号、モズ号は見事合格しました。この試験は NPO 法人犬の総合教育社会化推進機構（OPDES）が国際救助犬試験規定に則り実施し、ハンドラーと犬のペアで受験します。V 段階（初級）認定されていたアミ号は今回の合格で A 段階（中級）に、今回初受験のモズ号は V 段階（初級）認定され、晴れて災害救助犬として認定されました。一昨年の熱海市伊豆山土砂災害において、アミ号とハンドラーペアが災害派遣で出動しましたが、今回のモズ号ペアの合格により小牧基地の災害対処能力が向上しました。

災害派遣（患者空輸）



3月24日、小牧基地から愛媛県の松山空港までのC-130Hにて災害派遣（患者空輸）を実施しました。

今回の緊急患者空輸は航空機動衛生隊の保有する機動衛生ユニットを用いた重傷患者空輸です。

機動衛生ユニットはコンテナのような形をしており、空飛ぶ集中治療室と呼ばれ、飛行中も地上とほぼ同じ環境を作り、飛びながら患者の治療に当たる事が出来る装備品です。予定の時間より早く患者さんが到着していましたが機動衛生隊の隊員が慎重に機内のユニットまで搬送し、患者さんをベットに安定させ離陸しました。担当医と医療資格保有者である機動衛生隊員で飛行中も看護及び治療をします。名古屋空港から松山空港までは患者さんに負担がかからないよういつも以上に慎重に飛行し、松山空港の駐機場には、愛媛県の医療機関が既に待機しており、素早く引き継ぎを行い、患者さんを見送った後小牧基地への帰路に向かいました。

今回の任務実施に際し緊急患者空輸に携わった方々に感謝いたしますとともに患者様の1日でも早いご回復をお祈り申し上げます。